



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240



冬
ま
ぢ
か

1992
11

No.319



ストーブ1番列車
11月1日 7時25分金木駅発

大盛況 '92金木町産業文化まつり



▲2枚も当っちゃった。



▲開会のあいさつをする田中町長

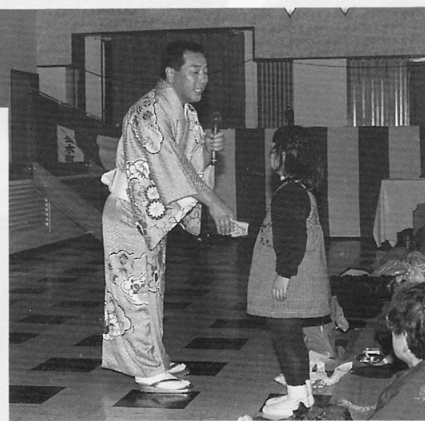
収穫の秋を祝い、文化の秋に親しむため「'92金木町産業文化まつり」が11月1日～3日までの3日間、中央公民館とトレーニングセンターを会場に盛大に行われました。開会に先立ち田中町長が、「金木町にふさわしい産業文化まつりにしていきたい」と挨拶。この後早速公民館大ホールで催しものが始められ、訪れた町民は催しものや展示物を熱心に鑑賞していました。



▲おしゃべりしながらするのが楽しいんです。



▲見事な出来ばえ



▲私、八郎さんのファンです



▲けっこうなお手前で

第2回町民歌謡祭
兼交通安全カラオケ大会予選会

11月3日、この日のメインイベント「第2回町民歌謡祭」が行われ、大勢の人が見守る中、日頃の成果を披露しました。

歌謡祭は昨年から行われているもので今年が第2回目。優勝の副賞がカラーテレビ、準優勝がラジカセなど豪華な賞品がもらえるとのこと。出場者は真剣そのもの。観客もうつとり聞き惚れていました。

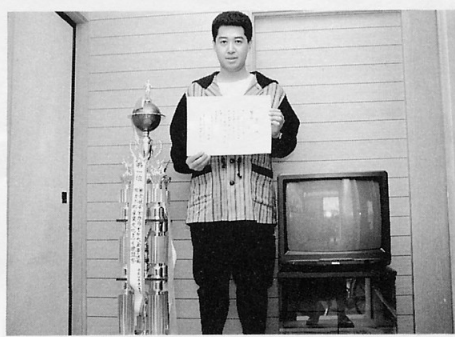
歌謡祭の成績は次のとおり

- 優勝 白川雄斉
- 準優勝 原田雄大
- 第3位 中谷弘子

- 特別賞 松川清男
- 特別賞 平川キミエ
- 第5位 伊藤広行
- 第4位 泉谷強正



▲女棋士誕生



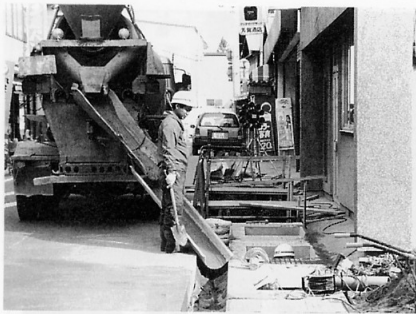
▲優勝して大喜びの白川さん

融雪溝いよいよ供用開始

地域づくり推進事業の一環として、平成2年度から工事が進められていた融雪溝が遂に今冬から一部供用開始されることになりました。

融雪溝は、冬季間、除排雪を円滑にし、雪に困らない生活を確保するため、道幅が狭く交通量の多い商店街に作られたものです。

これまでは雪の捨て場所がなく、苦勞していた商店街の皆さんも、この融雪溝により厄介だった雪捨てを楽にこなすことが可能となります。



融雪溝工事風景(寺町)

金木町の事業として行なう計画一覧

区分	延長	事業費
平成2年度	68m	11,652千円
平成3年度	302m	29,849千円
平成4年度	120m	20,468千円
平成5年度以降	420m	50,000千円
計	910m	111,969千円

度には米町の一部(68m)、平成3年度は米町、新富町、寺町の一部(302m)が完成しており、今年度寺町の残りの部分(120m)が完成。また、町の事業と共に、県の事業(県道部分)も役場前から本町、小川町の一部、川端町(460m)が完成することに伴い一部供用開始できるようになりました。

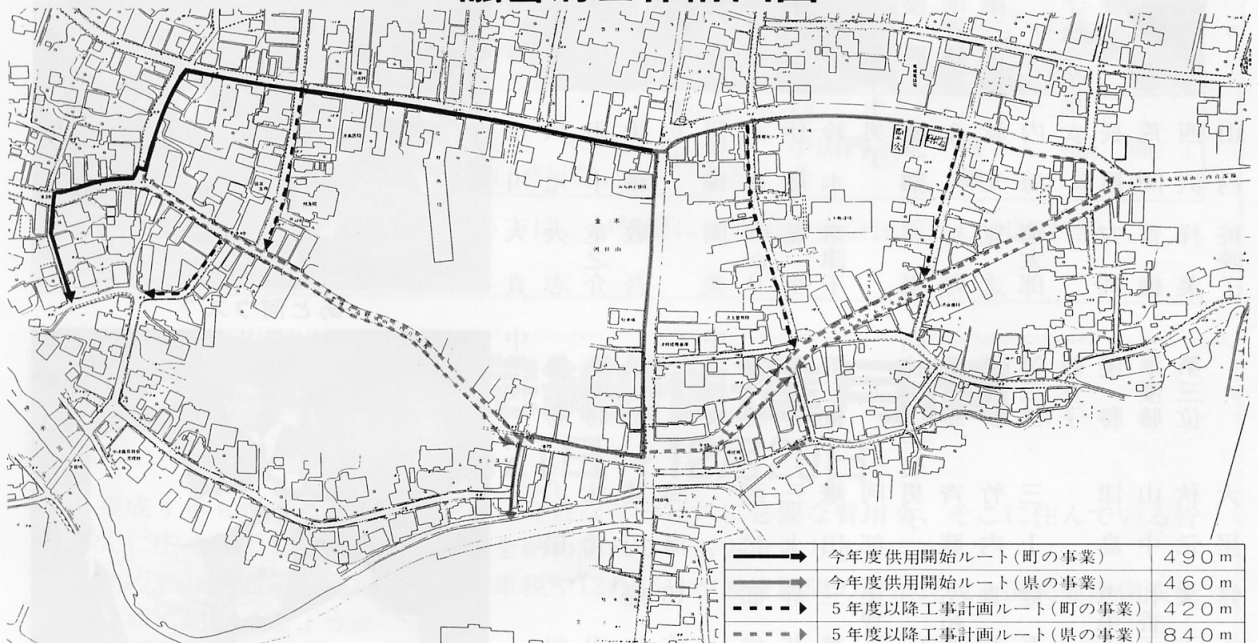
町の事業費は、平成2年度一、一六五万二千元、平成3年度二、九八四万九千元、平

成4年度二、〇四六万八千円を投資。また、来年度以降も事業計画があり、町の事業として420m、県の事業として840mを予定。最終的には駅前から米町の一部までの商店街全域が整備されることになり、交通渋滞の解消と、雪のない、明るい街並みになりそうです。

融雪溝利用心得

- ①雪捨てが終わったら、フタをきちんと閉めましょう。
- ②フタを開けやすくするため角材やパイプなどをはさんでおくことはやめましょう。
- ③融雪溝のフタ以外のものをフタとして使うのは危険です。すからやめましょう。
- ④安全格子は必ず取り付け作業しましょう。
- ⑤スノーダンプの雪や、大きな固い雪をそのまま投入すると下流でつかえますので小さくして投入しましょう。

融雪溝全体計画図



川小児童 あしの園慰問



お年寄りを前に一生懸命演奏する川小児童

去る10月26日、川倉小学校（校長 村上五朗）の児童が特別養護老人ホームあしの園（園長 中谷衛）を慰問し、

学芸発表で、お年寄りを楽しませました。慰問は、お年寄りたちに手紙を書いたり、学校の様子を披露することにより、高齢者に対する敬愛の気持ちを育てようと始めたもの。学芸発表は、全校生徒の元気よい合唱のあと手紙の贈呈が行われ、お年寄りたちは心温まる手紙に感激していました。また、この後も次々に遊戯や劇、合奏などを披露。お年寄りたちは盛大な拍手を送っていました。

南中JRC委員会 収益金を社協に寄附

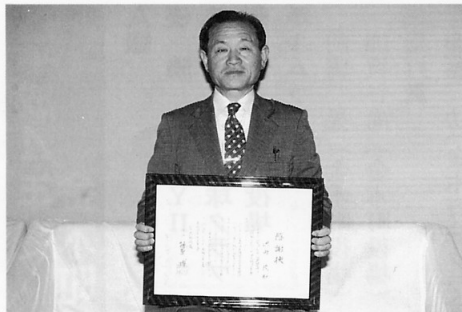


収益金と衣類を手渡す野呂君と山中君

このほど金木南中学校（校長 藤田信範）の生徒会長野呂佳久君とJRC委員長山中一成君が金木町社会福祉協議会（会長 花田一）を訪れ、南中祭でJRC委員会の主催で行われたチャリティバザーの収益金二八、五一〇円と衣類11点を、社会福祉のために役立てて下さいと寄附されました。

寄附を受けた白川章一社会福祉協議会副会長は「ありがとうございます。大切に使用させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

沢田 茂氏に 自衛隊から感謝状



感謝状を手に喜びの沢田さん

昭和61年に金木町自衛隊協力会会長に就任して以来、防衛思想の普及、隊員の士気の高揚に多大な協力、また師団の隊務運営に貢献した功績により、沢田茂（金木町自衛隊協力会会長）さんに、10月18日行われた「自衛隊第九師団創立三十周年記念式典」において、自衛隊第九師団長（陸将 藤原博）から感謝状が贈られました。

嘉瀬小児童・サントピアホームに 手作りの餅プレゼント



園生に餅をプレゼントする嘉瀬小児童

このほど嘉瀬小学校（校長 片田興）で、自分たちで育てた餅米を使って餅をつき、サントピアホーム（園長 花田昭一）の園生にプレゼントしました。

嘉瀬小では、校外学習の一環として稲作りを行っており、春に植えた稲が実を結び、10月12日に待望の稲刈りを、17日にはその刈り取った米を使って餅つき会を実施。男子生徒がウスとキネを使って餅をつき、女子生徒がつきたての餅を丸め、あんこを入れたダイフクを作り、みんなで試食しました。また、JRC委員が早速つきたての餅をサントピアホームの園生に「一生懸命作った手作りの餅です。どうぞ食べて下さい。」とプレゼントしました。